

# 平泉 世界遺産map



**散策メモ**  
**中尊寺**は慈覚大師円仁が毛越寺と同時期に開山した。その後、奥州藤原氏初代清衡公が、度重なる戦で亡くなった全ての者たちの鎮魂を願い再建・造営した。

源義経の住居跡。秀衡亡き後、頼朝の圧迫に耐えかねた泰衡の急襲にあいこの地で自害した。

三代秀衡公が、平等院鳳凰堂を模して建立した寺院の跡。金鶏山を借景にした庭園がすばらしかったという。

藤原清衡・基衡の屋敷や平泉館(政庁)があったとされる場所。

**毛越寺**は慈覚大師円仁が中尊寺と同時期に開山し、その後二代基衡公と三代秀衡公の時代に造営された。当時は中尊寺をしのぐ規模と荘厳さで歴史書吾妻鏡にも「吾朝無双(我が国に並ぶものがない)」と評されたという。

**散策メモ**  
**奥州藤原氏**  
 平泉で町づくりを始めた初代藤原清衡(きよひら)。前九年の役、後三年の役で地獄を見、波乱の青年期をおくらざるを得なかった清衡は、戦没者の魂を鎮めたい、極楽浄土の世を作りたんと願ったという。金山を財源に二代基衡(もとひら)が町づくりをさらに進め、三代秀衡(ひでひら)の時代に最盛期を向かえるが、鎌倉を追い出され行く宛ての無い源義経を助けた事で、滅亡の道を進むこととなった。